

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人
金沢大学附属病院長 富田 勝

金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	108人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	18人	328.1人	346.1人	看護補助者	40.0人	診療エックス線技師	0.0人
歯科医師	0人	11.5人	11.5人	理学療法士	11.0人	臨床検査技師	45.6人
薬剤師	40人	6.5人	46.5人	作業療法士	6.0人	衛生検査技師	3.8人
保健師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	7.9人	その他	0.0人
助産師	13人	0.0人	13.0人	義肢装具士	0.0人	あん摩マッサージ指圧師	0.0人
看護師	674人	25.5人	699.5人	臨床工学士	8.0人	医療社会事業従事者	0.0人
准看護師	2人	0.8人	2.8人	栄養士	0.0人	その他の技術員	4.0人
歯科衛生士	1人	0.0人	1.0人	歯科技工士	1.0人	事務職員	170.5人
管理栄養士	8人	0.0人	8.0人	診療放射線技師	36.0人	その他の職員	49.6人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	656.9人	5.1人	662.0人
1日当たりの平均外来患者数	1,505.6人	66.5人	1,572.1人
1日当たりの平均調剤数			1,172.8剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
<p>従来の前立腺癌に対する根治的前立腺全摘除術は開創手術であり、比較的出血量が多く、また勃起神経の切除による術後勃起障害の出現等、侵襲性の高い、かつ術後の生活の質(QOL)を著しく低下させる術式であった。1990年初頭に内視鏡下手術の導入が模索され、開創手術に比し出血量が少ないこと、術後疼痛が軽微であることなど多くの利点が提唱されてきたが、二次元視野での難易度の高い術式であることは否めない。複数の手術補助機能を統合して開発された本機器の導入は、従来の内視鏡下手術における低侵襲性、確実性、機能性を飛躍的に向上させるものである。</p>			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
<p>内視鏡下手術用ロボット支援下に、下記の2術式を設定する。まず術式Aを実施し、予め目標とした技術水準に達していることを確認の上、手術見学を経て術式Bの実施を開始する。【術式A】ロボット支援下冠動脈バイパス手術(MIDCAB)…ロボットを使用して、内胸動脈グラフトを剥離・採取する。その後、ロボットを使用せずに、肋間開胸にてグラフトを冠動脈に吻合する。【術式B】ロボット支援下完全内視鏡下冠動脈バイパス術…内胸動脈グラフト採取からグラフトの冠動脈への吻合までの全ての過程を、ロボットを使用して実施する。</p>			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療技術と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	67人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	56人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	80人	・原発性胆汁性肝硬変	101人
・全身性エリテマトーデス	264人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	57人
・再生不良性貧血	88人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	100人	・原発性免疫不全症候群	13人
・筋萎縮性側索硬化症	33人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	466人	・網膜色素変性症	20人
・特発性血小板減少性紫斑病	70人	・プリオン病	6人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	154人	・神経線維腫症	14人
・大動脈炎症候群	31人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	20人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・脊髄小脳変性症	39人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・クローン病	129人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患	123人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	13人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	99人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	28人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	34人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害	37人
		合計	2355人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	過栄養状態における肝臓機能の破綻と生活習慣病の研究	金子 周一	消化器内科	10,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会 <input type="checkbox"/>
2	ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	金子 周一	消化器内科	10,989,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
3	肝がんの新規治療法に関する研究	金子 周一	消化器内科	8,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
4	幹細胞制御によるがん治療法開発のための基盤研究	金子 周一	消化器内科	7,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
5	C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	金子 周一	消化器内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
6	ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	金子 周一	消化器内科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
7	主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究	金子 周一	消化器内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
8	癌浸潤リンパ球と末梢血液細胞の包括的遺伝子発現解析による癌免疫動態の解明	酒井 佳夫	消化器内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会 <input type="checkbox"/>
9	骨髄および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復(抗線維化)療法の開発研究	酒井 佳夫	消化器内科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
10	肝がんの新規治療法に関する研究	中本 安成	消化器内科	7,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
11	薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究	中本 安成	消化器内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
12	B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	中本 安成	消化器内科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
13	肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	中本 安成	消化器内科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
14	固形がんにおけるがん性幹細胞の役割の究明とがん性幹細胞を標的とした治療法開発に関する研究	山下 太郎	消化器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
15	肝臓の脂肪化が炎症とインスリン抵抗性を形成する機序解明と治療法開発	栗田征一郎	消化器内科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省 <input type="checkbox"/>
16	肝がんの新規治療法に関する研究	本多政夫	消化器内科	68,640,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
17	肝炎ウイルスの培養系を用いた新規肝炎治療法の開発	本多政夫(分担)	消化器内科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
18	テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究	本多政夫(分担)	消化器内科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
19	肝発生分化メカニズムに基づいた肝癌幹細胞特異的治療法の開発	山下 太郎	消化器内科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会 <input type="checkbox"/>
20	肝臓の炎症性発がん初期段階を構築するoncomiR分子の同定と治療応用	中本 安成	消化器内科	3,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会 <input type="checkbox"/>
21	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	内分泌・代謝内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省 <input type="checkbox"/>
22	アディポネクチン遺伝子導入マクロファージによる糖尿病壊疽の細胞治療	窪田 美幸	内分泌・代謝内科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省 <input type="checkbox"/>
23	心血管アルドステロンの合成制御機構の解明	出村 昌史	内分泌・代謝内科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省 <input type="checkbox"/>

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
24	糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	篁 俊成	内分泌・代謝内科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
25	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法, 治療法の開発に関する研究	篁 俊成	内分泌・代謝内科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
26	インスリン抵抗性と血管合併症を形成する肝臓由来新規ホルモンの機能解析	篁 俊成	内分泌・代謝内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
27	ヒトのクリオグロブリン血症性糸球体腎炎モデルマウスの作成	伊藤 清亮	リウマチ・膠原病内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
28	難治性慢性咳嗽の克服に向けて: 咳嗽発生メカニズムの機序解明と治療法の開発	藤村 政樹	呼吸器内科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
29	筋特異的ユビキチン連結酵素MAFbxの不全心病態形成における役割の検討	薄井 荘一郎	循環器内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
30	特発性心筋症に関する調査研究	山岸 正和	循環器内科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
31	心肥大に伴う心筋不全の発症・増悪に関わる要因に関する研究(多施設共同研究)(20公4)	山岸 正和	循環器内科	15,540,000 円	<input type="checkbox"/> 補委 循環器病研究委託費
32	血管内皮前駆細胞選択的捕捉VEGF固定化化ステントの開発に関する研究	山岸 正和	循環器内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
33	医工融合による動脈硬化の診断と治療の先端研究/血管病変部位の治療	山岸 正和	循環器内科	5,500,000 円	<input type="checkbox"/> 補委 知的クラスター創成事業
34	家族性高コレステロール血症の原因遺伝子別系統的病態解析	川尻 剛照	循環器内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
35	次世代の脂質代謝改善薬創薬の新たな起点としてのLDL受容体アダプター蛋白(LDLRAP1蛋白)	多田 隼人	循環器内科(検査部)	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本心臓財団
36	糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	和田 隆志	腎臓内科	6,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
37	難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	腎臓内科	1,460,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
38	慢性腎臓病(CKD)および腎心相関にはたすエピジェネティクスをかいした新規機序	坂井 宣彦	腎臓内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
39	心腎連関機序: 新規骨髄由来細胞の関与とその臨床評価システムの構築	和田 隆志	腎臓内科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
40	サイトカイン産生を誘導する自己抗体を用いた骨髄不全モデルマウスの作成	高松 博幸	血液内科	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
41	同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究	中尾 眞二	血液内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
42	多施設共同医師主導治験による新規医薬品の効果に関する臨床的エビデンス創出と新移植技術の開発研究	中尾 眞二	血液内科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
43	再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
44	特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	血液内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
45	アレルツズマブを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のための研究	中尾 眞二	血液内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
46	成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
47	臍帯血移植後の移植片対白血病効果誘導を目的とした腫瘍関連抗原ワクチン療法の開発	近藤 恭夫	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
48	抗リン脂質抗体症候群関連妊娠初期習慣性流産の責任抗体の同定と新規治療法の開発	山崎 雅英	血液内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
49	自己免疫性骨髄不全発症の引き金となる自己抗原の同定	中尾 眞二	血液内科	6,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
50	PIG-A遺伝子変異をマーカーとしたヒト造血幹細胞動態の解明	中尾 眞二	血液内科	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
51	巨核球減少性血小板減少症におけるPNH型血球検出の意義	中尾 眞二	血液内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
52	カルシニューリンインヒビターによる至適GVHD予防法の検討	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
53	移植後早期ホスカルネット投与によるHHV-6脳炎予防の試み	中尾 眞二	血液内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
54	白血球関連抗原を標的とした移植片腫瘍効果増強の試み	中尾 眞二	血液内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
55	アレルツズマブを用いた幹細胞移植後の免疫能の解析	中尾 眞二	血液内科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
56	腫瘍代謝組織(血液)を用いた肺癌分子標的治療の最適化	笠原 寿郎	呼吸器内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
57	たばこ政策への戦略基盤の構築と政策提言・実施・評価メカニズムに関する研究—特に、禁煙支援政策の実施基盤の構築と評価指標の開発	野村 英樹	総合診療内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
58	診療ガイドラインの新たな可能性と課題:患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習	野村 英樹	総合診療内科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
59	医師の態度と患者効用値に注目した糖尿病治療判断における行動科学的検討	小泉 順二	総合診療内科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
60	脳アミロイドアンギオパチーの生体試料収集に関する研究	山田 正仁	神経内科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
61	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	5,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
62	アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確立のための多施設縦断臨床研究:J-ADNIコホースタディ	山田 正仁	神経内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
63	大脳皮質基底核変性症由来iPS細胞の確立とタウオパチーの新規治療戦略の確立	山田 正仁	神経内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
64	脳アミロイドアンギオパチー関連脳出血のリスク評価法および予防法の開発	山田 正仁	神経内科	4,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
65	アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	神経内科	17,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	厚生労働省
66	ほくろく健康創造クラスター:脳老化・認知障害の早期診断・経時的評価のための総合システムの開発	山田 正仁	神経内科	26,636,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	文部科学省
67	自閉症スペクトラムの病態におけるGABA系の関与	菊知 充	神経科精神科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
68	統合失調症の病態生理におけるカンナビノイドの重要性についての研究	橋本 隆紀	神経科精神科	8,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会
69	統合失調症の前頭前野において障害されている介在ニューロン種とその機能変化の同定	橋本 隆紀	神経科精神科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 補助元	日本学術振興会

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
70	総合失調症の再発防止の確立に関する研究	三邊 義雄	神経科精神科	4,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
71	精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究	三邊 義雄	神経科精神科	2,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
72	自閉症関連障害のオキシトシン関連遺伝子cd38の変異とオキシトシン補充療法	三邊 義雄	神経科精神科	4,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
73	自閉症スペクトラム障害の視線認知に関わる大脳皮質反応の脳磁計による研究	中谷 英夫	神経科精神科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委
74	統合失調症の大脳皮質多領域におけるGABA伝達関連遺伝子発現の評価	橋本 隆紀	神経科精神科	1,500,000 円	<input type="checkbox"/> 補 アステラス製薬株式会社 <input checked="" type="checkbox"/> 委
75	統合失調症の病態生理解明のための、死後組織を用いた大脳皮質介在ニューロンにおける遺伝子発現の解析	橋本 隆紀	神経科精神科	550,000 円	<input type="checkbox"/> 補 重点戦略経費(学長戦略) <input checked="" type="checkbox"/> 委
76	統合失調症死後脳基底核におけるGABA系神経伝達経路の検討	戸田 重誠	神経科精神科	500,000 円	<input type="checkbox"/> 補 アステラス製薬株式会社 <input checked="" type="checkbox"/> 委
77	線条体ドーパミンD2受容体陽性細胞に発現するL型カルシウムチャネルを標的とした薬物依存治療の試み	戸田 重誠	神経科精神科	3,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補 財団法人武田科学振興財団 <input checked="" type="checkbox"/> 委
78	広汎性発達障害の診断・治療・経過観察総合システムの開発	菊知 充	神経科精神科	30,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補 ほくりく健康創造クラスター(文部科学省) <input checked="" type="checkbox"/> 委
79	統合失調症における大脳基底核出力ニューロンの死後脳を用いた解析	松原 拓郎	神経科精神科	500,000 円	<input type="checkbox"/> 補 公益信託松原三郎記念精神医学育成基金 <input checked="" type="checkbox"/> 委
80	小児救急医療におけるシミュレーション教育の効果の検証と遠隔教育への応用	太田 邦雄	小児科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
81	原発性免疫不全症候群に関する調査研究	谷内江昭宏	小児科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
82	WAS腎症をモデルとしたIgA腎症の発症機構に関する分子免疫学的解析	清水 正樹	小児科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委
83	小児血液腫瘍性疾患に対する抗腫瘍効果のみを増強した新たな造血幹細胞移植療法の開発	西村 良成	小児科	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
84	早期治療介入のための新しいEBV関連リンパ増殖性疾患診断指標の確立	谷内江昭宏	小児科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
85	原発性免疫不全症における復帰変異による体細胞モザイクの意義と分子生物学的基盤	和田 泰三	小児科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
86	肝細胞癌多段階発癌の画像診断に関する臨床的・基礎的研究	松井 修	放射線科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
87	有痛性悪性骨腫瘍に対する経皮的骨形成術についての第II相臨床試験に関する研究	松井 修	放射線科	8,003,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
88	難治がん対策推進のための総合的研究	松井 修	放射線科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
89	局所療法適応外の肝細胞がんに対する経動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	松井 修	放射線科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
90	肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	松井 修	放射線科	3,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
91	膵管癌のダイナミックCTによる濃染とVEGFの発現と病理組織学的特徴との相関	蒲田 敏文	放射線科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 日本学術振興会 <input type="checkbox"/> 委
92	樹状細胞免疫療法における細胞導入法に関する実験的研究:生体顕微鏡による動態解析	香田 渉	放射線科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委

No.	研 究 課 題 名	研究者氏名	所 属 部 門	金 額	<input type="checkbox"/> 補助元又は委託元	
93	3テスラ、1.5テスラ磁気共鳴装置による塞栓脳動脈瘤再破裂徴候検出法の研究	植田 文明	放射線科	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
94	強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	藤本 学	皮膚科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	厚生労働省
95	強皮症の病態におけるICOSとICOSLの役割の解明と治療への展開	長谷川 稔	皮膚科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
96	免疫性皮膚疾患における制御性B細胞の役割とその分子メカニズム	藤本 学	皮膚科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
97	CD20抗体によるB細胞除去療法が免疫応答に及ぼす影響についての検討	濱口 儒人	皮膚科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
98	CellAliveSystem (CAS)を併用した心臓移植術の基礎的研究	山口 聖次郎	心臓血管外科	2,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
99	ステントグラフト内挿術後のエンドリークに対する脈派解析による無侵襲診断法の確立	大竹 裕志	心臓血管外科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
100	微弱電磁場冷却装置を使用した零度以下(過冷却)長期心臓保存の実験的研究	渡邊 剛	心臓血管外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
101	医工融合による動脈硬化に診断と治療の先導的研究	渡邊 剛 大竹 裕志	心臓血管外科	18,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補委 <input checked="" type="checkbox"/>	財団法人北陸産業活性化センター
102	悪性胸膜中皮腫に対するmTORを標的とした分子標的治療の基礎的検討	田村 昌也	呼吸器外科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
103	改良型キトサンナノ繊維管による胸腔内自律神経機能再生に関する実験的臨床的研究	松本 勲	呼吸器外科	2,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
104	胆汁酸受容体FXR阻害によるバレット食道腺癌の化学予防	藤村 隆	胃腸外科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
105	肝細胞癌の Mesenchymal Transition 機序の解明	高村 博之	肝胆臓・移植外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
106	手術支援ロボットを使用した手術創のない内視鏡下手術に関する基礎的研究	平能 康充	内分泌・総合外科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
107	アダムキュービッツ動脈高位を含む分節動脈結紮による脊髄血流および機能に関する研究	富田 勝郎	整形外科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
108	生体内における化学療法・放射線療法による形態学的癌細胞死のリアルタイム画像検証	白井 寿治	整形外科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
109	高悪性度骨軟部腫瘍に対するカフェイン併用化学療法の臨床使用確認試験	土屋 弘行	整形外科	8,003,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	厚生労働省
110	骨軟部悪性腫瘍の生体内蛍光イメージング -原発巣から転移、治療まで	土屋 弘行	整形外科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	日本学術振興会
111	蛍光抗体を応用した骨軟部腫瘍の生体内イメージング	林 克洋	整形外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
112	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	川原 範夫	脊椎・脊髄外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	厚生労働省
113	高齢者の性ホルモン低下に伴う各種合併症に対する臨床研究	並木 幹夫	泌尿器科	7,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	厚生労働省
114	エピジェネティック変異による男性不妊症の戦略的研究	前田 雄司	泌尿器科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省
115	腎細胞癌及び前立腺癌に対するノスカピンの効果に関する基礎的研究	宮城 徹	泌尿器科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/>	文部科学省

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
116	前立腺癌の増殖に関与するアンドロゲン応答性遺伝子の同定と増殖関連腫瘍マーカーの開発	溝上 敦	泌尿器科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
117	ゲノム病としての男性不妊症の研究ーゲノム再組換えと精子タイピングー	高 榮哲	泌尿器科	7,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
118	ゲノム病としての前立腺がんー内因性レトロウイルスとアンドロゲン調節領域ー	高 榮哲	泌尿器科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
119	前立腺癌の薬剤耐性(タキサン系)の機序についての研究	三輪 聡太郎	泌尿器科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
120	再燃前立腺癌におけるエストロゲン受容体を介したシグナル伝達機構の包括的解明	小中 弘之	泌尿器科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
121	前立腺癌再燃の分子機序解明とその治療戦略構築のための基礎的研究	並木 幹夫	泌尿器科	5,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
122	低刺激無縫合羊膜移植術(羊膜コンタクト)の開発と視機能及び装用感の臨床的評価	井尻 茂之	眼科	560,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
123	難治性疾患克服研究事業 Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	杉山和久	眼科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
124	ナノテク・先端部材実用化研究開発 ウサギ緑内障モデルによるハニカム構造膜の評価	杉山和久	眼科	3,150,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 独立行政法人産業技術総合開発機構
125	近視眼における視神経乳頭の構造的解析と緑内障との関連性の解明	武田 久	眼科	730,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 井記念緑内障研
126	緑内障治療薬の反応性と標的タンパクの遺伝子多型との関連	桜井真由美	眼科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
127	ヒト角膜における新しい構造物(K-structure)の発見と臨床的意義の探求	小林 顕	眼科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
128	極早期緑内障の網膜神経線維欠損の構造的および機能的解析による病態解明	大久保 真司	眼科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
129	超高解像度光干渉断層計による緑内障関連動物モデルの視神経傷害の生体内定量的評価	東出 朋巳	眼科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
130	若年者の視神経乳頭解析と緑内障罹患率の調査研究	武田 久	眼科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
131	網膜における2孔型Kチャンネルの機能発現とその神経保護作用	櫻田 規全	眼科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
132	聴覚中枢発達の解明	杉本 寿史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,050,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
133	EBウイルス活性化による遺伝子発現変化と上咽頭組織がん化に関する研究	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
134	小児反復性中耳炎に対する十全大補湯の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,490,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
135	センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別的治療法の開発	吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
136	バイオアッセイモデルによる上咽頭癌リンパ節転移機構に関する研究	脇坂 尚宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
137	難聴モデル動物における、内耳の変化と聴覚中枢の発達について	伊藤 真人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
138	舌がん癌幹細胞の頸部リンパ節転移機構への関与	近藤 悟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
139	抗癌剤によるEBウイルス複製サイクル誘導を利用したあらたな上咽頭癌治療の開発	室野 重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
140	進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価	古川 似	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	8,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
141	霊長類に特異的なニューロン新生の制御機構	山嶋 哲盛	能再生外科	2,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
142	難治性婦人科がんに対する腫瘍融解ウイルス治療法の開発	井上 正樹	産科婦人科	5,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
143	固形がんにおけるがん性幹細胞の役割の究明とがん性幹細胞を標的とした治療法開発に関する研究	京 哲	産科婦人科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
144	テロメラーゼの新機能を標的とした婦人科癌治療に向けての基礎的研究	毎田 佳子	産科婦人科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
145	子宮内膜癌化モデルを駆使した内膜癌化機構の解明と新たな分子標的の探索	京 哲	産科婦人科	4,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
146	腫瘍特異的増殖ウイルスを用いた婦人科癌細胞の生体内イメージングシステムの構築	京 哲	産科婦人科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
147	不死化子宮内膜癌細胞を用いたプロゲステロン・ジェノゲストの薬理作用の検討	京 哲	産科婦人科	1,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補委 持田製薬株式会社
148	マイクロRNAによるテロメラーゼ制御機構の解明と子宮頸癌治療への応用	高倉 正博	産科婦人科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
149	髄芽腫の分子遺伝学的解析と診断法の確立	見崎 孝一	脳神経外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
150	グリオーマ幹細胞の浸潤関連分子の同定と機能解析	中田 光俊	脳神経外科	9,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
151	神経膠芽腫腫瘍幹細胞における遺伝子異常の時間的・空間的解析	林 裕	脳神経外科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
152	GSK3 β を標的とした悪性脳腫瘍に対する分子標的療法の確立と分子機構の解析	中田 光俊	脳神経外科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 財団法人がん研究振興財団
153	5-ALA内服による悪性脳腫瘍の術前診断と治療への応用	中田 光俊	脳神経外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 財団法人臨床薬理研究振興財団
154	悪性脳腫瘍内在幹細胞の浸潤関連遺伝子解析	中田 光俊	脳神経外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 財団法人安田記念医学財団
155	悪性脳腫瘍に対するテーラーメイド分子標的療法の確立	濱田潤一郎	脳神経外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 北國がん研究振興財団助成
156	新規放射線増感剤による悪性神経内分泌腫瘍に対する内照射療法の効果増強	萱野 大樹	核医学診療科	1,050,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
157	悪性神経内分泌腫瘍に対する血管新生阻害下内用療法:基礎研究から臨床応用へ	絹谷 清剛	核医学診療科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
158	虚血心筋障害、リモデリングにおける心筋間質の病態変化とその画像化に関する研究	瀧 淳一	核医学診療科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
159	日本人データベースによる心筋血流および心機能標準の作成と共有化	中嶋 憲一	核医学診療科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
160	顎矯正手術施行後の上下唇領域知覚麻痺の検討	羽柴 由香里	歯科口腔外科	1,080,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
161	口腔扁平上皮癌に対するAMPK活性化薬剤の増殖・浸潤・転移抑制効果の検討	加藤 広祿	歯科口腔外科	900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
162	顎骨における組織誘導再生療法に関する実験的研究	丸川 浩平	歯科口腔外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
163	Maspin機能発現による口腔扁平上皮癌の浸潤・転移抑制効果の実験的研究	吉澤 邦夫	歯科口腔外科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
164	抗癌剤および血管新生阻害剤による口腔扁平上皮癌の浸潤・転移抑制効果	川尻 秀一	歯科口腔外科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
165	顎骨形成術における骨および神経組織変化に関する実験的研究	中川 清昌	歯科口腔外科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
166	腎疾患重症化予防のための戦略研究(FROM-J)	和田 隆志	検査部	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本腎臓財団
167	時系列解析を応用した臨床検査精度管理システムの開発	大江 宏康	検査部	740,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
168	抗リン脂質抗体症候群におけるLA混合試験の標準化	表 美香	検査部	580,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
169	遺伝子組換えを使用しない、人工核酸アナログを用いた変異遺伝子の単離法に関する研究	竹本 賢一	検査部	580,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
170	分子遺伝学的手法による心房細動発症機構の解明と心房細動アップストリーム治療の評価	林 研至	検査部	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
171	不整脈に対する臨床病態の解明に関する研究	林 研至	検査部	500,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 循環器病研究委託費
172	肝動脈塞栓物質の動態解析: 静脈叢を介した門脈血流域の塞栓効果に関するインビボ解析	南 哲弥	放射線部	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
173	光造形血管モデルを用いた大動脈ステントグラフト治療前シミュレーションに関する研究	眞田 順一郎	放射線部	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
174	治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	高見 昭良	輸血部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
175	組織適合性に基づく非血縁同種造血幹細胞移植の成績向上に関する研究	高見 昭良	輸血部	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
176	治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	高見昭良	輸血部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
177	組織適合性に基づく非血縁同種造血幹細胞移植の成績向上に関する研究	高見昭良	輸血部	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
178	免疫関連遺伝子多型解析に基づく最適な造血幹細胞移植ドナー選択法の確立	高見 昭良	輸血部	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
179	非侵襲的アプローチによるストレスモニタリングと児に優しい周産期医療に関する研究	長沖 周也	周産母子センター	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
180	子宮頸部発癌過程での低酸素応答異常とHPV癌遺伝子によるHIF1活性化の分子機構	中村 充宏	周産母子センター	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
181	抗エリスロポエチン受容体抗体の同定とその臨床的意義	原 章規	救急部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
182	サイトカイン吸着カラムを用いた血液浄化療法の可能性への追及	谷口 巧	救急部	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
183	播種性血管内凝固における炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の関与	朝倉 英策	高密度無菌治療部	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
184	マウス心筋虚血再灌流障害および心筋梗塞モデルにおけるケミカルシャペロンの影響	岡島 正樹	集中治療部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
185	肝細胞癌発生過程における細胞老化の関与とその意義に関する分子病理学的研究	池田 博子	病理部	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 文部科学省
186	肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
187	C型肝炎における新規治療法に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
188	肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究	酒井 明人	光学医療診療部	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
189	血液サンプルを用いた、難治性固形癌のがん薬物療法の効果予測因子の臨床的有効性の検討	笠原 寿郎	外来科学療法室	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 厚生労働省
190	CXCR4/CXCL12とHB-EGFを標的とした胃癌標的治療法の開発	安本 和生	がん高度先進治療センター	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
191	化学療法時に出現する吃逆の関連因子と対処法に関する研究	河原 昌美	薬剤部	440,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
192	フェンタニルの肝臓中CYP代謝阻害による薬物間相互作用の予測に関する研究	原 祐輔	薬剤部	590,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
193	NADPHオキシダーゼ阻害剤によるNASHの抗酸化療法の開発研究	宮本 謙一	薬剤部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会
194	胎盤関門のダイナミクスを制御するトランスポーター-エズリン複合体	崔 吉道	薬剤部	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 <input type="checkbox"/> 委 日本学術振興会

ページ計 10
合計 194

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題	発表者氏名	所属部門
1	Metabolism (2009.4.)	Middle-aged Japanese women are resistant to obesity-related metabolic abnormalities	Sakurai M	内分泌・代謝内科
2	Clin Exp Hypertens (2009.5)	Clock gene expression in the liver and adipose tissues of non-obese type 2 diabetic Goto-Kakizaki	Ando H	内分泌・代謝内科
3	J Biol Chem (2009.5.29)	Palmitate induces insulin resistance in H4IIEC3 hepatocytes through reactive oxygen species produced by mitochondria	Nakamura S (Takamura T)	内分泌・代謝内科
4	J Physiol (2009.6.1)	Altered firing pattern of single-unit muscle sympathetic nerve activity during handgrip exercise in chronic heart failure	Murai H	循環器内科
5	Hepatology (2009.8)	Identification of microRNA-181 by genome-wide screening as a critical player in EpCAM-positive hepatic cancer stem cells	Ji J (Yamashita T)	消化器内科
6	Diabet Med (2009.8)	J-shaped relationship between waist circumference and subsequent risk for Type 2 diabetes: an 8-year follow-up of relatively lean Japanese individuals	Sakurai M	内分泌・代謝内科
7	Am J Pathol (2009.8)	Endothelial to mesenchymal transition via transforming growth factor-beta1/Smad activation is associated with portal venous stenosis in idiopathic	Kitao A (Honda M)	消化器内科
8	Hepatology Int (2009.9)	A randomized trial of 24 versus 48 weeks of peginterferon alpha-2a in patients infected with chronic hepatitis C virus genotype 2 or low viral load genotype 1: a multicenter national study in Japan	Iwasaki Y (Kaneko S)	消化器内科
9	J Immunol (2009.9.1)	Crucial contribution of thymic Sirp alpha-conventional dendritic cells to central tolerance against blood-borne antigens in a CCR2-dependent	Baba T (Nakamoto Y)	消化器内科
10	J Viral Hepat (2009.9)	Mutational analysis of the hepatitis C virus E1 glycoprotein in retroviral pseudoparticles and cell-culture-derived H77/IFH1 chimeric infectious virus	Russell RS (Kawaguchi K)	消化器内科
11	Nat Genet (2009.10)	Genome-wide association of IL28B with response to pegylated interferon-alpha and ribavirin therapy for chronic hepatitis C	Tanaka Y (Honda M)	消化器内科
12	Cancer Res (2009.10)	Blockade of a chemokine, CCL2, reduces chronic colitis-associated carcinogenesis in mice	Popivanova BK	腎臓内科
13	Gut (2009.11)	Standard steroid treatment for autoimmune pancreatitis	Kamisawa T (Takatori H)	消化器内科
14	J Gerontol A Biol Sci Med Sci (2010.1)	Influence of age on clock gene expression in peripheral blood cells of healthy women	Ando H	内分泌・代謝内科
15	Chronobiol Int (2010.1.)	Associations of metabolic parameters and ethanol consumption with messenger RNA expression of clock genes in healthy men	Ando H	内分泌・代謝内科
16	Diabetes Care (2010.2)	Histological course of nonalcoholic fatty liver disease in Japanese patients: tight glycemic control, rather than weight reduction, ameliorates liver fibrosis	Hamaguchi E	内分泌・代謝内科
17	Circ Cardiovasc Genet (2010.1.2)	Altered hepatic gene expression profiles associated with myocardial ischemia	Ootsuji H	循環器内科
18	Diabetes (2010.3)	CD14+ monocytes are vulnerable and functionally impaired under endoplasmic reticulum stress in patients with type 2 diabetes	Komura T	消化器内科
19	Liver Int (2010.3.30)	dUTP pyrophosphatase expression correlates with a poor prognosis in hepatocellular carcinoma	Takatori H	消化器内科
20	第94回日本消化器病学会総会記念誌(2009.4)	肝癌再発制御を目的とした樹状細胞による免疫療法の開発	水腰 英四郎	消化器内科
21	糖尿病(2009.6.30)	インスリン治療中の2型糖尿病患者の一般内科における年間外来直接医療費の検討-70歳前後の比較-	河原 利夫	内分泌・代謝内科
22	第94回日本消化器病学会総会記念誌(2009.7.1)	調製法の異なる樹状細胞を用いた肝癌治療戦略	中本 安成	消化器内科
23	World J Gastroenterol. (2009/9)	Pseudolymphoma of the liver associated with primary biliary cirrhosis:a case report and review of	岡田 俊英外	消化器内科
24	Allergy Asthma Proc	Evaluation of airway hyperresponsiveness and exhaled nitric oxide as risk factors for airway remodeling in patients with stable asthma.	Ohkura N	呼吸器内科
25	Experimental Lung Research	Bronchoconstriction-triggered cough in conscious guinea pigs.	Okura N	呼吸器内科

26	Therapeutic research	Additional Effects of Pranlukast on Exhaled Nitric Oxide Levels in patients with Persistent Asthma.	Okura N	呼吸器内科
27	Int J Hematol	Expression of annexin II in experimental abdominal aortic aneurysms.	Hayashi T	血液内科
28	Cough	Bronchodilator effect of deep inspiration and bronchoconstriction-triggered cough.	Ohkura N,	呼吸器内科
29	Jpn J Clin Oncol.	Relationship between tumor-infiltrating T lymphocytes and clinical response after reduced-intensity allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for advanced renal cell carcinoma: a	Ishiyama K,	血液内科
30	J Asthma.	Bronchoconstriction-triggered Cough Is Impaired in Typical Asthmatics.	Ohkura N,	呼吸器内科
31	Pulm Pharmacol Ther.	Effects of macrolides on antigen-induced increases in cough reflex sensitivity in guinea pigs.	Tokuda A,	呼吸器内科
32	Int J Hematol.	Randomized trial of response-oriented individualized versus fixed-schedule induction chemotherapy with idarubicin and cytarabine in adult acute myeloid leukemia: the IALSG AMI 95 study.	Ohtake S	血液内科
33	Journal of the Neurological Sciences (平成21年6月)	A case of adult onset type II citrullinemia with portal-systemic shunt.	能登大介	神経内科
34	Experimental Neurology (平成21年6月)	Anti-aggregation and fibril-destabilizing effects of sex hormones on α -synuclein fibrils in vitro.	廣畑美枝	神経内科
35	Future Neurology (平成21年6月)	New therapeutic strategy for amyloidosis.	森永章義	神経内科
36	Intern Medicine (平成21年7月)	Polyethylene glycol interferon α -2b-induced immune-mediated polyradiculoneuropathy.	本崎裕子	神経内科
37	Neurology (平成21年7月)	Idiopathic sphenoidal defects detected by 3D computed tomography.	浜口 毅	神経内科
38	Journal of Neurology (平成21年9月)	A novel presenilin 1 mutation (L282F) in familial Alzheimer's disease.	浜口 毅	神経内科
39	Neuropathology (平成21年10月)	The risk of iatrogenic Creutzfeldt-Jakob disease through medical and surgical procedures.	浜口 毅	神経内科
40	Neuropathology (平成21年10月)	Dura mater graft-associated Creutzfeldt-Jakob disease in Japan: Clinicopathological and molecular characterization of the two distinct subtypes.	山田正仁	神経内科
41	Neuropathology (平成21年12月)	The first Japanese patient with variant Creutzfeldt-Jakob disease (vCJD).	山田正仁	神経内科
42	American Journal of Pathology	Phenolic Compounds Prevent Alzheimer's Pathology through Different Effects on the Amyloid- β Aggregation Pathway.	浜口 毅	神経内科
43	Clinical Neurology and Neurosurgery (平成22年1月)	CSF tau protein is a useful marker for effective treatment of superficial siderosis of the central nervous system: Two case reports.	池田篤平	神経内科
44	Journal of Neurology (平成22年2月)	The efficacy of radiation monotherapy for Tolosa-Hunt syndrome.	古川 裕	神経内科
45	Am J Psychiatry 166: 450-459 (2009)	Altered Markers of Tonic Inhibition in the Dorsolateral Prefrontal Cortex of Subjects With Schizophrenia	橋本隆紀	神経科精神科
46	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry (2000年12月)	Heart rate variability in drug-naive Patients with panic disorder and major Depressive disorder.	菊知 充	神経科精神科
47	J Infect Dis June 15, 2010	Clinical significance of clonal expansion and CD5 down-regulation in Epstein-Barr virus (EBV)-infected CD8+ T lymphocytes in EBV-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis.	Akiko Toga Taizo Wada	小児科
48	Rheumatology May 14, 2010	Distinct cytokine profiles of systemic-onset juvenile idiopathic arthritis-associated macrophage activation syndrome with particular emphasis on the role of interleukin-18 in its pathogenesis.	Masaki Shimizu	小児科
49	J Pediatr Hematol Oncol Jan 2010	Dense methylation of types 1 and 2 regulatory regions of the CD10 gene promoter in infant acute lymphoblastic leukemia with MLL/AF4 fusion gene	Yasuhiro Ikawa	小児科
50	Ann Thorac Surg. 87(4):1301-3 (2009, Apr)	Management of tracheobronchial ulceration induced by high-dose brachytherapy.	Matsumoto I Oda M	心肺・総合外科

51	Ann Thorac Surg. 88(1):258-61 (2009,Jul)	An experimental study of type I endleak repair with a suturing device.	Ohtake H Watanabe G	心肺・総合外科
52	J Cardiovasc Surg.(Torino)50(6):819-20(2009,Dec)	Effectiveness of a temporary bypass in high-risk abdominal aortic aneurysm surgery.	Ohtake H Watanabe G	心肺・総合外科
53	Artif Organs.34(6):516-8(2010,Jun)	Robotic skeletonized internal thoracic artery harvesting : the sliding fascia	Ishikawa N Watanabe G	心肺・総合外科
54	Surg Endosc.24(3):730-1(2010,Mar)	Single-incision laparoscopic hernioplasty with the assistance of the Radius Surgical System.	Ishikawa N Watanabe G	心肺・総合外科
55	Int J Oncology (2009)	Local angiotensin II -generation in human gastric cancer: Correlation with tumor progression through the activation of	Kinoshita J, et al	胃腸外科
56	Anticancer Drugs (2009)	Feasibility and efficacy of preoperative chemotherapy with docetaxel, cisplatin and S-1 in gastric cancer patients with para-aortic	Fushida S, et al	胃腸外科
57	Oncol Rep.(2009)	Selective lymphadenectomy of para-aortic lymph nodes for advanced gastric cancer	Fujimura T, et al	胃腸外科
58	Int J Oncol.(2010)	PSK enhances the efficacy of docetaxel in human gastric cancer cells through inhibition of nuclear factor-kappaB activation and	Kinoshita J, et al	胃腸外科
59	Endocrine-related cancer (Dec;16(4):1139-55. Epub 2009 Jul 16.)	Prostate cancer stromal cells and LNCaP cells coordinately activate the androgen receptor through synthesis of testosterone and dihydrotestosterone from dehydroepiandrosterone	溝上 敦 並木 幹夫	泌尿器科
60	Journal of human genetics (Aug;54(8):450-6. Epub 2009 Jul 24)	Tissue-specific differentially methylated regions of the human VASA gene are potentially associated with maturation arrest phenotype in the testis.	杉本 和宏 高 栄哲	泌尿器科
61	Urology (Jun;73(6):1342-6. Epub 2009 Apr 15.)	Risedronate recovers bone loss in patients with prostate cancer undergoing androgen-deprivation therapy.	泉 浩二 溝上 敦 並木 幹夫	泌尿器科
62	The Prostate (2010 Jan 1;70(1):48-60.)	CTEN/tensin 4 expression induces sensitivity to paclitaxel in prostate cancer.	李 友強 溝上 敦 並木 幹夫	泌尿器科
63	Ophthalmology1 2009年7月	In vivo laser confocal microscopy after non-Descemet's stripping automated endothelial keratoplasty.	小林 顕	眼科
64	Journal of Cataract and Refractive Surgery 2009年9月	Anterior segment optical coherence tomography findings of reverse papillary block after scleral-fixed sutured posterior chamber intraocular lens implantation	東出朋巳	眼科
65	Acta Ophthalmologica 2010年2月	Beneficial effects of preoperative intravitreal bevacizumab on trabeculectomy outcomes in	齋藤代志明	眼科
66	Acta Otolaryngol (2009)	Neuroprotective effects of vitamin E on adult rat motor neurones following facial nerve avulsion.	星田 茂	耳鼻咽喉科頭頸部外科
67	Am J Rhinol Allergy (2009)	Grafting the olfactory epithelium to the olfactory bulb.	八木清香	耳鼻咽喉科頭頸部外科
68	Ann Otol Rhinol Laryngol (2009)	Concurrent intra-arterial chemotherapy and radiotherapy for advanced laryngeal cancer.	吉崎智一	耳鼻咽喉科頭頸部外科
69	Auris Nasus Larynx (2009)	An extremely rare case of large Delphian node metastasis preceding primary laryngeal cancer	室野重之	耳鼻咽喉科頭頸部外科
70	喉頭 (2009)	T1a声門癌に対するレーザー手術症例の検討	室野重之	耳鼻咽喉科頭頸部外科
71	耳鼻免疫アレルギー (2009)	思春期の頭頸部ウイルス感染症と頭頸部癌 -2種類のがんウイルス EBVとHPVについて-	吉崎智一	耳鼻咽喉科頭頸部外科
72	頭頸部癌(2010)	喉頭全摘術後の咽頭皮膚瘻の発生	中西庸介	耳鼻咽喉科頭頸部外科
73	産婦人科治療(2009)	知っておきたい今日のホルモン療法:これからのHRT	小池 浩司	産科婦人科
74	日本婦人科腫瘍学会雑誌 (2009)	傍大動脈リンパ節廓清を省略した子宮内膜癌手術の治療成績	京 哲	産科婦人科
75	産科と婦人科(2009)	再生医療の将来と産婦人科 —子宮内膜幹細胞研究の現状と動向—	京 哲	産科婦人科
76	Medical Science Digest (2009)	RNA依存性RNAポリメラーゼをめぐる新たな展望	毎田 佳子	産科婦人科
77	THE LUNG perspectives (2010)	ヒト2本鎖RNA合成酵素の発見	毎田 佳子	産科婦人科
78	Cancer Therapy : Preclinical	Potential Therapeutic Effect of Glycogen Synthase Kinase 3β Inhibition against Human Glioblastoma	Katsuyoshi Mivashita	脳神経外科

79	Clinical Neurology and Neurosurgery	A reevaluation of the primary diagnosis of hemangiopericytoma and the clinical importance of differential diagnosis from solitary fibrous tumor of the central nervous system	Yutaka Hayashi	脳神経外科
80	日本口腔腫瘍学会雑誌 (2009年6月発行)	浸潤様式4D型口腔扁平上皮癌の生物学的性状	山本悦秀	歯科口腔外科
81	Pathology and Oncology Research (2009年5月発行)	Integrin expression levels correlate with invasion, metastasis and prognosis of oral squamous cell carcinoma	大原照比佐	歯科口腔外科
82	Head and Neck (2009年7月発行)	Significance of stromal desmoplasia and myofibroblast appearance at the invasive front in squamous cell carcinoma of the oral cavity	川尻秀一	歯科口腔外科
83	日本口腔診断学会雑誌 (2009年7月発行)	Salivary flow rates and Candida counts in subjects with dry mouth sensation or burning mouth sensation	山本悦秀	歯科口腔外科
84	Cancer Res. 69, 7884-7892, 2009	Blockade of a chemokine, CCL2, reduces chronic colitis-associated carcinogenesis in mice.	Wada T(6番目), et al.	検査部
85	Hepatology 49, 1098-1112, 2009	Differential microRNA expression between hepatitis B and hepatitis C leading disease progression to hepatocellular carcinoma.	Sakai Y(8番目), et al.	検査部
86	Circ Cardiovasc Genet. 3, 68-77, 2010	Altered hepatic gene expression profiles associated with myocardial ischemia.	Sakai Y(7番目), et al.	検査部
87	Diabetes 59, 634-643, 2010	CD14+ monocytes are vulnerable and functionally impaired under endoplasmic reticulum stress in patients with type 2 diabetes.	Sakai Y(2番目), et al.	検査部
88	Clin Sci (Lond). 117(12), 415-424, 2009.	Long QT syndrome and associated gene mutation carriers in Japanese children: results from ECG screening examinations.	Hayashi K(1番目), et al.	検査部
89	Br J Haematol. 147(1), 102-112, 2009.	Origin and fate of blood cells deficient in glycosylphosphatidylinositol-anchored protein among patients with bone marrow failure.	Sugimori N(4番目), et al.	検査部
90	Intern Med. 48(10), 859, 2009.	Pictures in clinical medicine. Huge apertures in the aortic valve due to Libman-Sachs endocarditis.	Tada H(1番目), et al.	検査部
91	Radiological Physics and Technology 2, 138-144, (2009)	Investigation of scatter fractions for estimating leakage dose in medical X-ray imaging facilities	能登公也	放射線部
92	Bone Marrow Transplant (2010 Epub)	A single-nucleotide polymorphism of the Fc[gamma] receptor type IIIA gene in the recipient predicts transplant outcomes after HLA fully matched unrelated BMT for myeloid malignancies.	高見昭良	輸血部
93	Haematologica (2009 Oct)	NKG2D gene polymorphism has a significant impact on transplant outcomes after HLA-fully-matched unrelated bone marrow transplantation for standard risk hematologic malignancies.	高見昭良	輸血部
94	Jpn J Clin Oncol (2009 Dec)	Relationship between tumor-infiltrating T lymphocytes and clinical response after reduced-intensity allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for advanced renal cell carcinoma: a	高見昭良	輸血部
95	J Biol Chem. 2009 Dec4;284(49):34400-12	A pathogenic C terminus-truncated polycystin-2 mutant enhances receptor-activated Ca2+ entry via association with TRPC3 and TRPC7.	Miyagi K, et al.	総合診療部
96	J Orthop Sci 2009; 14(5):548-555.	Recapping T-saw costotransversoplasty for ventral meningiomas in the thoracic spine. J Orthop Sci 2009; 14(5)	Kawahara N, Tomita K, Mohamed E. Abdel-Wanis, Murakami H	整形外科
97	Orthop Clin North Am 2009; 40(1): 47-63.	Total en bloc spondylectomy for spinal tumors: Surgical techniques and related basic background.	Kawahara N, Tomita K, Murakami H, Demura S, Kazuhiro S.	整形外科
98	J Spinal Disord Tech 2009; 22(1):62-6.	Transvertebral herniotomy for T2/3 disc herniation. -A case report-	Kawahara N, Demura S, Murakami H, Tomita K	整形外科

99	Spine 34: 635-9, 2009	Surgical site infection in spinal metastasis: risk factors and countermeasures.	Demura S, Kawahara N, Murakami H, Nambu K, Kato S	整形外科
100	J Biomed Mater Res B Appl Biomater 91B: 373-380, 2009.	Prevention of pin tract infection with titanium-copper alloys.	Shirai T, Tsuchiya H, Shimizu T, Ohtani K, Zen Y	整形外科
101	Spine 34:E342-E345,2009.	Pyogenic Osteomyelitis of the Atlas: A Case Report.	Ueda Y, Kawahara N, Murakami H, Matsui T, Tomita K.	整形外科
102	Cryobiology 59: 28-35, 2009.	Influence of freezing with liquid nitrogen on whole-knee joint grafts and protection of cartilage from cryoinjury in rabbits.	Hayashi M, Tsuchiya H, Otoi T, Agung B, Yamamoto N	整形外科
103	J Orthop Sci 14: 253-258, 2009.	Impact of serum caffeine monitoring on adverse effects and chemotherapeutic responses to caffeine-potentiated chemotherapy for osteosarcoma.	Hayashi K, Tsuchiya H, Yamamoto N, Shirai T, Yamauchi K, Takeuchi A, Kawahara M, Miyamoto K, Tomita K	整形外科
104	Cell Prolif 42: 75-82, 2009.	A color-coded orthotopic nude-mouse treatment model of brain-metastatic paralyzing spinal cord cancer that induces angiogenesis and neuro genesis.	Hayashi K, Yamauchi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Tomita K, Bouvet M, Wessels J, Hoffman RM	整形外科
105	J Cell Biochem 106: 992-998, 2009.	Cancer metastasis directly eradicated by targeted therapy with a modified Salmonella typhimurium.	Hayashi K, Zhao M, Yamauchi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Tomita K, Hoffman RM	整形外科
106	Cell Cycle 8: 870-875, 2009.	Systemic targeting of primary bone tumor and lung metastasis of high-grade osteosarcoma in nude mice with a tumor-selective strain of Salmonella typhimurium.	Hayashi K, Zhao M, Yamauchi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Tomita K, Kishimoto H, Bouvet M, Hoffman RM	整形外科
107	Spine. 34(8):792-7. 2009	Three-dimensional analysis of thoracic apical sagittal alignment in adolescent idiopathic scoliosis.	Hayashi K, Upasani VV, Pawelek JB, Aubin CE,	整形外科
108	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2009 May;17(5):542-50.	Use of bisphosphonates for the treatment of stress fractures in athletes.	Shima Y, Engebretsen L, Iwasa J, Kitaoka K,	整形外科
109	J Orthop Sci 14: 761-768, 2009.	Histological examination of frozen autograft treated by liquid nitrogen removed after implantation.	Tanzawa Y, Tsuchiya H, Shirai T, Hayashi K, Zen Y	整形外科

110	Orthopedics. 2009 Jul;32(7):531.	Cervicothoracic giant cell tumor expanding into the superior mediastinum: total excision by combined anterior-posterior approach	Yoshioka K, Kawahara N, Murakami H, Demura S, Kawaguchi M, Oda M, Matsumoto I, Tomita K	整形外科
111	Journal of Orthopaedic Surgery 17(1): 6 - 9, 2009	Heparin versus danaproid for prevention of venous thromboembolism after hip surgery	Nakase J, Y Toribatake, Y Mouri, H Seki, Kitaoka	整形外科
112	J Trauma 16: 241-242, 2009.	Effect of Polarized Light Emitting Diode Irradiation on Wound Healing	Tada K, Ikeda K, Tomita K.	整形外科
113	Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg 43: 171-173, 2009.	Flexion contracture of the fingers caused by sarcoidosis: an 11-year follow-up	Tada K, Ikeda K, Tomita K	整形外科
114	Orthopedics. 2009 Oct;32(10).	Decompression, correction and interbody fusion for lumbar burst fractures using a single posterior approach	Sasagawa T, Kawahara N, Murakami H, Demura S, Tomita K	整形外科
115	J Orthop Sci 14: 556-565, 2009	Caffeine-potentiated chemotherapy for metastatic osteosarcoma.	Kimura H, Tsuchiya H, Shirai T, Nishida H, Hayashi K, Takeuchi A, Ohnari I, Tomita K	整形外科
116	J Cell Biochem 109: 58-64, 2009	Real-time imaging of single cancer-cell dynamics of lung metastasis.	Kimura H, Hayashi K, Yamauchi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Tomita K, Kishimoto H, Bouvet M, Hoffman RM	整形外科
117	J Orthop Sci 14: 385-390, 2009	Occlusive dressing for large soft tissue defects following soft tissue tumor excisions	Takeuchi A, Tsuchiya H, Shirai T, Hayashi K, Nishida H, Tomita K	整形外科
118	J Cell Biochem 108:362-367, 2009	In vivo gene transfer between interacting human osteosarcoma cell lines is associated with acquisition of enhanced metastatic potential.	Tome Y, Tsuchiya H, Hayashi K, Yamauchi K, Sugimoto N, Kanaya F, Tomita K, Hoffman RM	整形外科
119	臨整外 44:560-564, 2009	関節機能温存法-人工関節か代替法か...	土屋弘行	整形外科
120	日本創外固定・骨延長学会雑誌 20:31-35, 2009	チタン銅合金による創外固定ピン感染の予防 -ステンレスとチタンをコントロールとしたin vitro及びin vivo研究-	白井寿治, 土屋弘行, 富田勝郎, 清水徹, 全陽	整形外科
121	別冊整形外科 55:137-142, 2009	骨腫瘍における創外固定の応用	林克洋, 土屋弘行	整形外科
122	日本創外固定・骨延長学会雑誌 20:37-41, 2009	広範な骨欠損を伴う開放性両側pilon骨折に対し創外固定を用いて治療した1例	西田英司, 土屋弘行, 松原秀憲, 高戸慶, 高田宗知, 富田勝郎	整形外科

123	中部整災誌 52:763-764, 2009	広範な骨欠損を伴う開放性pilon骨折に対しTaylor Spatial Frameによる骨移動術後足関節固定を行った1例	西田英司, 土屋弘行, 松原秀憲, 高田宗知, 富田勝郎	整形外科
124	整形災害外科 52:243-248, 2009	下肢の線維性骨異形成に対する創外固定器を用いた治療成績	松原秀憲, 土屋弘行, 高田宗知, 富田勝郎	整形外科
125	中部整災誌 52:1389-1390, 2009	治療に難渋した放射線照射後大腿骨骨折のMRSA感染性偽関節の1例	丹沢義一, 土屋弘行, 白井寿治, 西田英司, 松原秀憲, 富田勝郎	整形外科
126	別冊整形外科 55:61-67, 2009	Taylor Spatial Frameの基礎と実践	高田宗知, 土屋弘行, 松原秀憲, 富田勝郎	整形外科
127	日本創外固定・骨延長学会雑誌 21:71-76, 2010	Illustrator●による変形の評価および術前の作図	高田宗知, 土屋弘行, 松原秀憲, 富田勝郎	整形外科
128	MB Orthop 22:161-168, 2009	VI腫瘍. 骨巨細胞腫の診断と治療	武内章彦, 土屋弘行, 富田勝郎	整形外科
129	中部整災誌 52:435-436, 2009	石灰化を伴った手指の血管平滑筋腫の1例	大成一誓, 土屋弘行, 白井寿治, 林克洋, 武内章彦, 安竹秀俊	整形外科
130	関節外科 28:56-57, 2009	腫瘍脊椎骨全摘術における出血対策-複数椎高位(3対)の術前分節動脈塞栓-	川原範夫, 富田勝郎, 村上英樹, 出村 諭, 上田康博, 松井 修, 富田勝郎	整形外科
131	脊椎・脊髄手術手技 11:49-51, 2009	脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 - 脊髄腹側圧迫例の一塊とした腫瘍椎体切除 -	川原範夫, 富田勝郎, 村上英樹, 出村 諭	整形外科
132	MB Orthop 22:43-47, 2009	外傷性頸部症候群の手術療法(前方法を中心に)	村上英樹, 川原範夫, 富田勝郎	整形外科
133	中部整災誌 52:983-984, 2009	仙骨前面の神経鞘腫に対するT-sawを用いた後方アプローチによる摘出術	村上英樹, 川原範夫, 出村 諭, 吉岡克人, 加藤仁	整形外科
134	脊髄機能診断学 31:37-39, 2009	Total en bloc spondylectomyにおけるAdamkiewicz動脈の結紮が脊髄機能に及ぼす影響	村上英樹, 川原範夫, 出村 諭, 加藤仁, 志, 松井 修	整形外科
135	中部整災誌 52:545-546, 2009	甲状腺癌脊椎転移例に対する術式選択	出村 諭, 川原範夫, 村上英樹, 藤巻芳寧, 富田勝郎	整形外科
136	臨整外 44:675-680, 2009	下位腰椎の脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術, 後方-前方合併アプローチ	出村 諭, 川原範夫, 村上英樹, 吉岡克人, 川口真史, 笹川武史, 岡本義之, 竹内孝之郎, 富田勝郎, 土竹 裕	整形外科

137	臨整外 44:213-680, 2009	8椎体に及ぶ広範な胸腰椎カリエスの手術経験	加藤仁志, 川原範夫, 村上英樹, 出村論, 岡山忠樹, 吉岡克人, 川口真史, 富田勝郎	整形外科
138	脊髄機能診断学 30:70-77, 2009	Adamkiewicz動脈高位を含む脊椎分節動脈の結紮による脊髄血流および機能への影響 -犬を用いた実験的研究-	加藤仁志, 川原範夫, 村上英樹, 出村論, 藤巻芳寧, 川口真史, 湯上博, 富田勝郎	整形外科
139	中部整災誌 52:1219-1220, 2009	脊椎手術における術中, 術後の凝固・線溶系マーカーの変動 -可溶性フィブリンモノマー複合体に着目して-	吉岡克人, 加畑多文, 川原範夫, 村上英樹, 出村論, 富田勝郎	整形外科
140	中部整災誌 52:989-990, 2009	脊椎転移癌における隣接椎骨への進展様式の病理学的検討	笹川武史, 川原範夫, 村上英樹, 出村論, 吉岡克人, 富田勝郎	整形外科
141	中部整災誌 52:1241-1242, 2009	既存椎体骨折による後弯変形が隣接椎体におよぼす力学的影響 -有限要素解析を用いた研究-	岡本義之, 川原範夫, 村上英樹, 出村論, 吉岡克人, 富田勝郎	整形外科
142	関節外科 28:1130-1135, 2009	Hemiresurfacing Hip Arthroplastyの術後成績	加畑多文, 前田亨, 村尾匡, 田中一範, 吉田弘範, 楢野良知, 富田勝郎	整形外科
143	ペインクリニック 30:1340-1345, 2009	股関節由来の痛みの原因	加畑多文	整形外科
144	中部整災誌 52:211-212, 2009	人工股関節置換術後の静脈血栓予防におけるXa凝固因子阻害剤の効果	多賀正, 加畑多文, 前田亨, 安藤智成, 富田勝郎	整形外科
145	Hip Joint 35:593-595, 2009	KTプレートの設置角度と骨頭中心の高さおよびオフセット量の関係について	吉田弘範, 加畑多文, 前田亨, 村尾匡, 田中一範, 楢野良知, 富田勝郎	整形外科
146	Hip Joint 35:146-148, 2009	ポリエチレンのwear-throughからメタロシスに至った人工股関節置換術5例の検討	楢野良知, 加畑多文, 前田亨, 村尾匡, 田中一範, 富田勝郎	整形外科
147	膝 33:371-375, 2009	内側側副靭帯損傷を含んだ膝複合靭帯損傷に対し内側側副靭帯修復術を施行した2例	中瀬順介, 北岡克彦, 中村真二, 小村孝二, 宗廣鉄平, 富田勝郎	整形外科
148	整形・災害外科 52:777-780, 2009	前十字靭帯再建術後の再建靭帯断裂ならびに反対側前十字靭帯損傷例の検討	中瀬順介, 北岡克彦, 小村孝二, 宗廣鉄平, 相場知宏, 富田勝郎	整形外科
149	日本人工関節学会誌 39:112-113, 2009	TKA術後の膝蓋骨脱臼に対する治療経験	五嶋謙一, 北岡克彦, 島洋祐, 相場和宏, 上島謙一, 富田勝郎	整形外科
150	日手会誌 24:559-562, 2009	偏光LED (Light Emitting Diode) 照射による創傷治癒促進効果について	多田薫, 橋本典之, 富田勝郎, 石黒基, 池田和夫	整形外科

151	別冊整形外科 56:1091-1096, 2009	背側月状骨窩骨片を伴う橈骨遠位端関節内骨折に対する掌側および背側プレート固定の有用性について	多田 薫, 池田和夫, 小峰伸彦, 納村直希, 富田勝郎	整形外科
152	成人病と生活習慣病 39:1331-1335, 2009	ヒトの骨格構造の進化と運動器疾患	八幡徹太郎, 富田勝郎	整形外科
153	臨床バイオメカニクス 30:197-201, 2009	脊髄手術における脊髄の応力解析	水尾大志, 坂本二郎, 岡山忠樹, 村上英樹, 川原範夫, 富田勝郎	整形外科
154	臨床バイオメカニクス 30:185-190, 2009	脊椎固定術が脊椎負荷に与える影響の筋骨格シミュレーションによる力学的評価	福井 悠, 坂本二郎, 村上英樹, 川原範夫, 富田勝郎	整形外科
155	脊椎脊髄 22:197-200, 2009	高齢者胸腰椎圧迫骨折に対するジュエツト型, ダーメン-ジュエツト型軟性コルセット	土田敏典, 川原範夫	整形外科
156	ペインクリニック 30:101-103, 2009	静脈内PCAによる疼痛治療が有用であった動脈塞栓術および除圧固定術を予定した転移性脊椎腫瘍の1例	山田圭輔, 武川治水, 栗田昭英, 小林恭子, 山本 隆一, 山本 隆一	整形外科
157	日本臨床整形外科学会雑誌 34:121-125, 2009	フェノール法で治療した母趾陥入爪不成功例の統計学的解析	米澤幸平, 米澤孝信, 米澤嘉朗, 出村 諭	整形外科
158	Anticancer Res 29:1873-1878, 2009	Efficacy of a genetically-modified Salmonella typhimurium in an orthotopic human pancreatic cancer in nude mice	Nagakura C, Hayashi K, Zhao M, Yamauchi K, Yamamoto N, Tsuchiya H, Tomita K, Bouvet M, Hoffman M	整形外科
159	J Orthop Sci 14:377-384, 2009	Correction of hallux valgus deformity using the center of rotation of angulation method	Mashima N, Yamamoto H, Tsuboi I, Tsuchiya H, Tanaka Y, Watanabe S	整形外科
160	Anticancer Res 29:4093-4098, 2009	Reconstruction using a frozen bone method for osteosarcoma of the talus. A case report and review of the literature	Sakayama K, Kidani T, Sugawara Y, Tauchi H, Fujibuchi T, Tanji N, Yamamoto H, Tsuchiya H	整形外科
161	J Surg Oncol 100:48-54, 2009	Osteosarcoma in the elderly over 60 years: A multicenter study by the Japanese musculoskeletal oncology group	Nishida Y, Isu K, Ueda T, Nishimoto Y, Tsuchiya H, Wada T, Sato K, Tsukushi S	整形外科
162	Proc Natl Acad Sci USA. 106:14514-14517, 2009	In vivo internal tumor illumination by telomerase-dependent adenoviral GFP for precise surgical navigation	Kishimoto H, Zhao M, Hayashi K, Urata Y, Tanaka N, Fujiwara T, Penman S, Hoffman RM	整形外科
163	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 17:561-577, 2009	Clinical application of scaffolds for cartilage tissue engineering	Iwasa J, Engebretsen L, Shima Y, Ochi M	整形外科

164	Am J Sports Med. 37:822-827, 2009	Biomechanics of supination ankle sprain: a case report of an accidental injury event in the laboratory	Fong DT, Hong Y, Shima Y, Krosshaug T, Yung PS	整形外科
165	Journal of the Pancreas 10, 152-156, 2009	The cyan fluorescent protein (CFP) transgenic mouse as a model for imaging pancreatic exocrine cells	Tran Cao HS, Kimura H, Kaushal S; Snyder CS, Reynoso J, Hoffman RM, Bouvet M	整形外科
166	J. Cell. Biochem 107, 328-334, 2009	Development of the transgenic cyan fluorescent protein (CFP)-expressing nude mouse for "Technicolor" cancer imaging	Tran Cao HS, Reynoso J, Yang M, Kimura H, Kaushal S, Snyder CS, Hoffman RM, Bouvet M	整形外科

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 富田 勝郎
管理担当者氏名	・消化器内科長 金子 周一 ・内分泌・代謝内科長 武田 仁勇
	・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘 ・呼吸器内科長 藤村 政樹
	・循環器内科長 山岸 正和 ・腎臓内科長 和田 隆志
	・血液内科長 中尾 眞二 ・総合診療内科長 小泉 順二
	・神経内科長 山田 正仁 ・神経科精神科長 三邊 義雄
	・小児科長 谷内江 昭宏 ・子どものこころの診療科長 棟居 俊夫
	・放射線科長 松井 修 ・放射線治療科長 高仲 強 ・皮膚科長 竹原 和彦
	・心臓血管外科長 渡邊 剛 ・呼吸器外科長 小田 誠 ・胃腸外科長 藤村 隆
	・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生 ・内分泌・総合外科長 石川 紀彦
	・乳腺副科長 井口 雅史 ・整形外科長 土屋 弘行
	・脊椎・脊髄外科長 村上 英樹 ・泌尿器科長 並木 幹夫 ・眼科長 杉山 和久
	・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一 ・産科婦人科長 井上 正樹
	・麻酔科蘇生科長 山本 健 ・脳神経外科長 濱田 潤一郎
	・核医学診療科長 絹谷 清剛 ・歯科口腔外科長 山本 悦秀
	・薬剤部長 宮本 謙一
	・総務課長 長谷川 篤志 ・経営管理課長 山崎 勝治 ・医事課長 安岡 浩憲

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	医事課	診療録は1患者1ファイル
病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書	各診療科 看護部 薬剤部	
従業者を明らかにする帳簿	総務課	
高度医療の提供の実績	医事課	

病院の管理及び運営に関する諸記録

高度医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
高度医療の研修の実績	総務課		
閲覧実績	総務課		
紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部		
規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	開催順
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	開催順
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	発生順
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	発生順
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保	医事課	開催順

病院の管理及び運営に関する諸記録

	保管場所	分類方法	
規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
	院内感染のための委員会の開催状況	医事課	開催順
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医事課	開催順
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	発生順
	医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	開催順
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	各外来・病棟	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	発生順
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事課	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医事課	開催順
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医事課 経営管理課	発生順
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 経営管理課	発生順

(注) 「診療に関する諸記録」欄にはこの記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 富田 勝郎
閲覧担当者氏名	総務課長 長谷川 篤志
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	71.9%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	10,218人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,336人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	559人	
	D : 初診の患者の数	18,242人	

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネージャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること</p> <p>(3) 安全管理対策のための教育及び研修に関すること</p> <p>(4) 発生した医療事故原因の分析及び改善策等に関すること</p> <p>(5) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<p>・研修の主な内容</p> <p>【平成21年度】</p> <p>医療安全研修(講演・講習)</p> <p>『深部静脈血栓症の最新の治療と予防』 6/29、7/13</p> <p>『酸素療法器具の使用法について』 8/5、8/20</p> <p>『お薬の管理と安全』 10/1、10/13</p> <p>『低圧持続吸引機勉強会』 11/10</p> <p>『非侵襲的人工呼吸管理』 11/26、12/26</p> <p>『クレーム対応のポイント』 12/4</p>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック</p> <p><input type="checkbox"/> 医療従事者の医療事故防止に関する教育</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止のための基礎知識の提供</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告書等から必要なマニュアルを作成</p> <p><input type="checkbox"/> インシデントサマリに再発防止策を提案</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止マニュアルの見直し</p> <p><input type="checkbox"/> GRM等による医療現場のラウンド</p> <p><input type="checkbox"/> 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布</p> <p><input type="checkbox"/> 院外の事故情報の提供による注意喚起</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1名) <input type="checkbox"/> 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員：専任(2)名 兼任(10)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <p>(1) 医療にかかる安全管理対策及び医療事故対策の企画立案に関すること (2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること (3) 安全管理のための教育及び研修企画及び運営に関すること (4) アクシデント及びインシデント報告の調査及び分析に関すること (5) リスクマネージャーとの連絡調整に関すること (6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認及び指導に関すること (7) 患者家族への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導に関すること (8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること (9) 金沢大学医療安全管理委員会に用いられる資料及び議事録の作成、その他当該委員会の事務に関すること (10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会に関する基本事項 3. 従業者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発症時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 11 回
・活動の主な内容 (1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること (2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること (3) 院内感染についての教育活動に関すること (4) 院内感染の調査に関すること (5) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容 【平成20年度】 感染対策研修(講演) 『新型インフルエンザの状況と本院での』 『抗菌薬とTDM～安全で有効な薬剤療法のために』(2回) その他 感染対策指導 「手指衛生トレーニング」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 ・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 院内感染対策チーム(HICT)の会議において、院内感染に関する問題を検討し、その改善策等を院内感染対策委員会に諮る。また、その改善策等を感染対策ニュースとして院内に周知する。	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>【平成21年度】 医療安全研修(講演・講習) 『お薬の管理と安全』 『TODO画面を活用した指示出し・指示受けの運用について』 『抗がん剤の混合調整と調整後の薬の取扱い』</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 薬剤部から外来入院患者への医薬品の処方・交付 5) 病棟における医薬品の管理 6) 中央診療施設、外来部門における医薬品の管理 7) 入院患者への医薬品使用等の管理・指導</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医療安全管理部のカンファレンスにおいて、インシデント事例の報告や医薬品に関する問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>【平成21年度】</p> <p>医療安全研修(講演・講習)</p> <p>『深部静脈血栓症の最新の治療と予防』</p> <p>『酸素療法器具の使用方法について』</p> <p>『低圧持続吸引機勉強会』</p> <p>『非浸襲的人工呼吸管理』</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 回
<p>・手順書の作成 (計画の策定) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>ME機器管理センター、放射線部が中心となって保守点検計画を実施。 製造販売業者の添書・指導に基づく保守点検、または外部業者への委託により、動作確認や部品確認を行う。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医療安全管理部のカンファレンスにおいて、インシデント事例の報告や医薬品に関する問題提起などを受けて検討し、その改善策等を院内に周知する。</p>	